

1. 「子どもの音に対する好奇心を喚起する」ための課題

……………第1週を目安にやってください。

1) 自分の身体だけを使って(声は使わずに)、どんな音が出るか探してみましょう。

- ① 「手」の中でどんな音が出るか探してみましょう(腕はダメです)。何種類考えられますか?
「大きな音」とは限りません。「子どもの注意力を育てる」という意味があるので、小さな音も作り出してみてください

例; 手のひらと手のひら(=いわゆる手拍子) / 指の腹と指の背 / 爪と〇〇? ……

ルーズリーフ等書き出してください。

- ② 手以外の身体を使って、どんな音が何種類出るか探してみよう。

例; 頭 / ほっぺた / おなか / ひざ / 足 / 腕 ……

ルーズリーフ等書き出してください。

- ③ ②で出た音を使って、何か「動物の動作」を表してみよう。

例; たぬきがおなかをポンポンポン……

ルーズリーフ等書き出してください。

2) 身の回りにあるいろいろな材料で、どんな音が出るか探してみましょう。

幼児にとって身近な材料を考えてください。

書き方の例: 「床を足で強く踏み鳴らす」「クッションを指1本でこする」など。

材料の例 : 机・壁・洗面器にはった水・ビニール袋・クッション・雑誌・

紙(ティッシュ~段ボール?) ……

ルーズリーフ等書き出してください。

3) 2)の音は、どんなイメージをつくることができますか。

例: 床を足で強く踏み鳴らす……きらいな友だちにおもちゃを取られた怒りの気持ち

思い浮かぶ範囲でルーズリーフ等書き出してください。



1)2)3)とも、提出できるように用意しておいてください。

休業明けには、実演でも確認する予定です。

2. 前回の課題3. について…………第2週を目安にやってください。

1) 前回は、⑥で「11 曲の中からどれか 1 曲を選んで、振付を考える」課題を出しました。

今回は、それにもう 1 曲足し（計 2 曲）、振付をルーズリーフ等に絵で描いてください。

絵が上手である必要はありません。見てわかればよいです。

➡ 提出できるように用意しておいてください。休業明けには実演でも確認する予定です。

2) 11 曲とも歌えるようになりましたか？ 今回は、11 曲すべてについて、

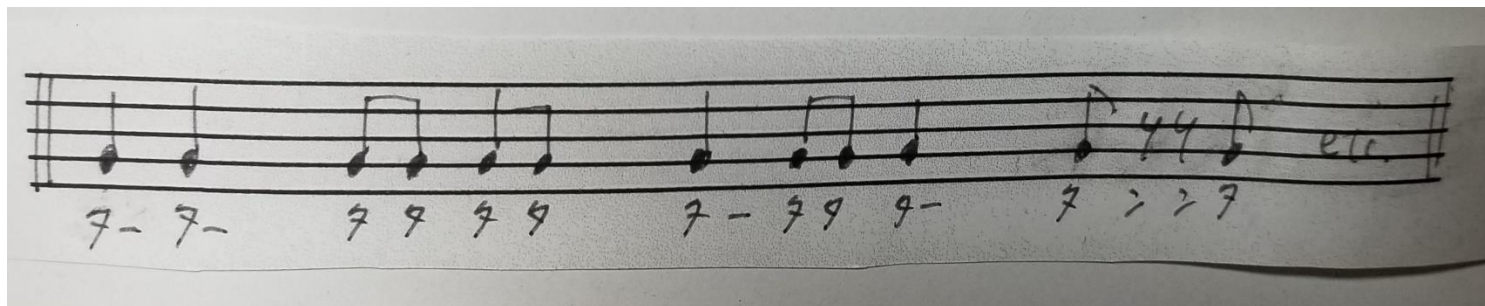
① 手拍子でさまざまなリズムをたたきながら歌いましょう。

② 身体を使いながら様々なリズムをたたいて歌いましょう。

※ 「幼児が真似できる」ことを考え、あまり複雑にならないほうがいいですね。

※ リズムの例を、下に載せておきました。これにこだわらなくてけっこうです。

即興的に、その場でできるのが一番理想ですが、書き出しておいてかまいません。

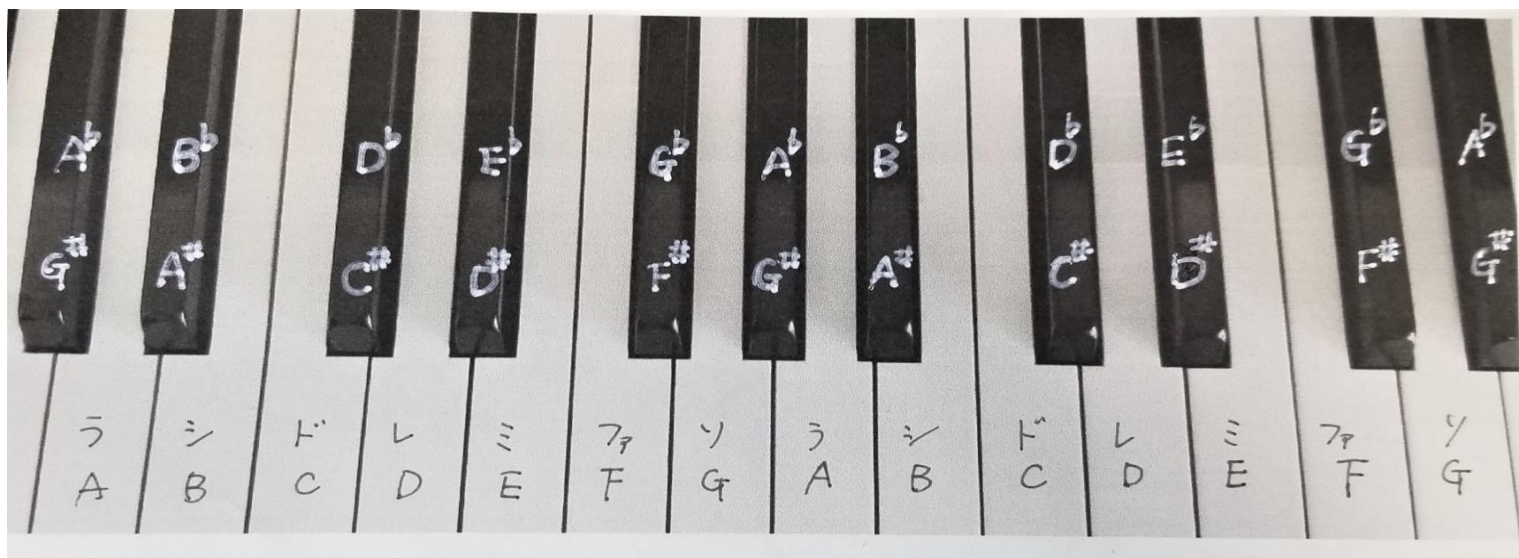


➡ 休業明けには実演で確認する予定です。

3. 前回の課題1. ～3. について…………忘れないよう、毎週3～4曲程度復習してください。

基本的に、前回の課題も忘れてしまわないように引き続き練習してください

キーボードについては、この下の写真を使って練習してもかまいません。



不安でいっぱいだと思います。めげずに、前向きに、がんばりましょう。